

## ぽっかぽかの会勉強会報告

～亀山市の特別支援教育の現状と今後～

講師 西 秀人先生

(教育委員会学校教育室兼子ども総合支援室生徒指導担当指導主事)

日にち 10月21日(土)13:30～15:30

場所 亀山市総合保健福祉センター研修室

参加者 16名(保護者10名 内1名欠席、施設職員1名、  
介助員4名 内1名欠席、支援室職員1名)

託児(かめのこスマイル)4名利用

準備 中谷・伴・浜野

当日は、西先生自らプロジェクターの準備などしていただき、レジメを基に、亀山市の特別支援教育の内容を説明していただきました。亀山方式という言葉ができたくらいで、現在亀山市は、市外の方々から注目をされていますが、子ども総合支援室ができ、ここを中心に教育・福祉・医療がうまく連携をはかり、回っているようです。「困り感」を持っている児童生徒からの支援が始まり、その子の情報が途切れることなく上に伝わる。先生方の研修は幼稚園・保育園から中学校の教諭まで行っていただき、子ども達の支援の仕方も個別のものを考えていただき、数年前より格段に子ども達が過ごしやすくなったような気がしました。先生のお話が1時間15分で残りの時間は質問タイムとしましたが、活発に質問意見が飛び交いました。一人一人に一言ずつお話していただいてもよかったかもと反省しています。



当日アンケートより

### 感想

#### よかったところ。心に残った話。

- 小学校他の間に細かく動いている態勢が見えてよかった。
- ～亀山市について～ からの話から始まって、大まかな内容から知ることができて良かったです。
- 「大変だね」「ご苦労様」大切にしていきたいです。
- これができたらこれができるはずと思ってはいけない。私もよくこのことで躓きます。また、機会があれば参加したいです。
- 学校から社会に出て仕事をする時、コミュニケーションが大切である事。
- 亀山市の現状やいろいろな立場の人の話が聞けたところ。
- 流れや取り組みがよく解り参加できよかったです。就学は2年後ですがそれまでに

自分がやるべき事など参考になった。

- 普段、園の先生とお話をしていると、一方的にせめられることが多いのですが、「大変だね、ご苦労様」と言ってもらえる環境になるといいなと思います。(先生によっては、勉強されて素晴らしい方もいらっしゃいますが…)

### もう少し工夫してほしいところ

- 他域への理解へ に向けて学校(幼・保・小学・中学他)の働きなどを、学校他から聞いている内容を知りたかったし、具体的にどう支援しているかを知りたかった。
- 幼稚園で私が介助員として関わらせて頂いている保護者の方がおみえで話しづらかったのでは…?と少し気になってしまいました。
- 質問・発表の前に所属・名前を言うてからのほうが良いと思います。(全員の自己紹介もほしい)
- 今日のお話にもありましたが、専門知識の向上を目指していただきたいと思います。と同時に一般論をならべるのではなく、個人をしっかり見てほしいと思います。(忙しさのあまり、問題なく過ごそうとコミュニケーションをとってもらえない)

### 今後聞きたい話など

- ADHD、アスペルガー一症候群などの詳しい学習会がしていただきたい。
- LD・高機能自閉症などの障害の勉強会を亀山・鈴鹿・津で受けたいです。
- 夢想工房の内田さんの話(就労に関する事)
- 就労のことについて現場の話、携わっている方の話を聞いてみたいです。
- 夢想工房の方の話もとても興味があります。今回の質問コーナーのときにお話されたとき、もっとお話を聞きたいと思いました。

### その他

- 家族・障害者の兄弟の負担の話も聞きたかった。(支援の仕方)
- 貴重なお話をありがとうございました。参加させてもらってよかったです。
- 折角企画に参加してもらったのですから、一人一回は発言してもらえるように時間も配慮してほしいと思います。
- 今日のお話を聞いて、子ども支援室の方・教育委員会・園・小中学校など皆さんお忙しい中、もっと良い町にしようと日々ガンバっていらっしゃる事がよく解りました。できることから、親として最善を尽くしていきたいと思いました。